

各市町村社会教育委員の 活動報告



岡山県社会教育委員連絡協議会

令和5年3月

目次

1. 社会教育委員の役割	1
2. 参考になる文献・リンク	3
3. 第64回全国社会教育研究大会広島大会報告・第45回 中国・四国地区社会教育研究大会島根大会について	4
4. 各市町村社会教育委員の活動報告	
① 岡山市	5
② 倉敷市	6
③ 津山市	7
④ 玉野市	8
⑤ 笠岡市	9
⑥ 井原市	10
⑦ 総社市	11
⑧ 高梁市	12
⑨ 新見市	13
⑩ 備前市	15
⑪ 瀬戸内市	16
⑫ 赤磐市	17
⑬ 真庭市	18
⑭ 美作市	19
⑮ 浅口市	20
⑯ 和気町	21
⑰ 早島町	23
⑱ 里庄町	24
⑲ 矢掛町	25
⑳ 新庄村	26
㉑ 鏡野町	27
㉒ 勝央町	28
㉓ 奈義町	29
㉔ 西粟倉村	30
㉕ 久米南町	31
㉖ 美咲町	32
㉗ 吉備中央町	33

※本報告は、各市町村における「活動成果報告書」を基に作成しておりますが、体裁の都合上、一部編集を行っております。

1. 社会教育委員の役割

その1 自分のまちの社会教育の実情を知り、社会教育に関する諸計画を立案すること

自分のまちの社会教育の現状について積極的に把握します。そして、地域住民と行政の間に立って、住民の声を行政に反映させるための提案をします。

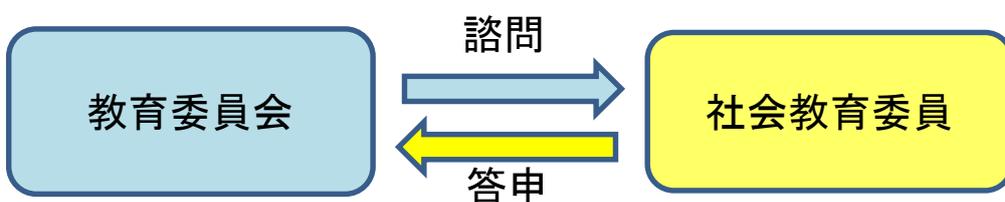
なお、社会教育委員は個人として任命される(独任制)ので、会議を通じて意見を述べることの他に、一人一人が独立した立場で職務や活動を行うことができます。



その2 社会教育委員の会議としての職務① 教育委員会への答申・意見を述べること

教育委員会で扱われる社会教育事案のうち、協議が必要であると判断するものについては、社会教育委員の会議に対して教育委員会が諮問を行います。

それに対して、社会教育委員の会議が開かれ、委員の意見を集約する形でまとめ、「答申」という形で意見を述べます。



その3 社会教育委員の会議としての職務② 必要に応じて研究調査や視察を行うこと

1ページの職務を行うために必要な研究調査や視察等を行うことができます。

研究調査によって得られたデータをもとに課題を洗い出し、その解決方法を探り、意見としてまとめていくことで、より実態を踏まえた提案につながります。

〔研究調査の例〕

- ・さまざまな機関・団体が行う社会教育事業の視察
- ・先進的な取組を行っている社会教育施設等の視察
- ・社会教育に関する地域住民の意識調査 など



その4 青少年教育に関する助言や指導を行うこと

市町村教育委員会から委嘱を受けた青少年の体験活動における指導、青少年への指導法の研修などを行うことが可能です。

社会教育委員が、自然体験活動、地域活動、ボランティア活動等における指導者やボランティアをコーディネートしたり、行政と地域住民をつないだりすることで、青少年の体験活動を充実させることができます。



【社会教育法】第17条（社会教育委員の職務）

- 1 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。
 - 1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。
 - 2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
 - 3) 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
- 2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。
- 3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

【参考資料・参考文献】

- ・「改訂版 社会教育委員のためのQ&A ―関係法規から読み解く―」
（一般社団法人全国社会教育委員連合）
- ・社会教育委員の手引き〔基礎編〕
（平成30年3月 鳥取県社会教育委員連絡協議会 鳥取県教育委員会）

2. 参考になる文献・リンク

- ・「改訂版 社会教育委員のためのQ&A ―関係法規から読み解く―」
（一般社団法人全国社会教育委員連合）
- ・一般社団法人全国社会教育委員連合ホームページ
（研修案内・調査研究などの情報が掲載されています。）
<http://www.shakyoren.or.jp/index.html>
- ・「子どもたちの夢を育む生涯学習の推進方策について(答申)」
（令和4年6月 岡山県生涯学習審議会及び岡山県社会教育委員の会議）
<https://www.pref.okayama.jp/site/16/detail-39748.html>

3. 第64回全国社会教育研究大会広島大会報告

令和4年10月26日（水）～28日（金）に第64回全国社会教育研究大会広島大会
令和4年度中国・四国地区社会教育研究大会が開催されました。本大会では「こ
れからの時代を見据えた学びのデザイン～ニューノーマル時代における社会教育
の在り方～」を研究主題として、全国各地のさまざまな実践や活動についての発
表や交流が行われました。

第4分科会「社会構造の変化に伴う社会教育施設の役割」では、岡山市教育委
員会生涯学習課 公民館振興室 友延 栄一 主査が「『岡山市立公民館基本方針』
の策定と公民館の取組」というテーマで発表されました。

友延主査は、平成31年3月策定の「岡山市立公民館基本方針 ともに わたした
ちが 未来をつくる 開かれた公民館」を紹介し、その策定の経緯や方針に基づく
今日的な課題への取組についてお話をされました。

この基本方針は、公民館が地域の学び合
いの拠点としての役割を果たすとともに、
持続可能な社会づくりに向けた地域課題へ
の対応を行っていくための方向性が示され
ており、岡山市の公民館全体の取組の充実
や、地域防災や若者の地域参画などの新た
な地域活動の場づくりにつながっています。



【お知らせ】

第45回中国・四国地区社会教育研究大会島根大会

期 日 令和5年11月16日（木）～17日（金）

会 場 島根県民会館（松江市）

大会スローガン 「縁結びの地 島根で 学ぼう、つながろう、始めよう！

～地域の人づくり・つながりづくりを進めるために～



4. 各市町村社会教育委員の活動報告

岡山市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：18人 任期：2年
会議の年間回数：3回（予定）

◇活動のテーマ・重点

地域の教育力の向上

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

- 1 社会教育委員会会議を実施（令和4年8月25日）
 - （1）公民館が実施する地域未来塾の状況や岡山市の地域学校協働活動について説明し、委員から意見聴取。
 - （2）公民館基本方針について説明し、委員から意見聴取。
- 2 社会教育委員会会議を実施（令和4年12月23日）
 - （1）令和4年10月に学校に実施した地域学校協働活動の取組状況に関するアンケート結果を説明し、委員から意見聴取。
 - （2）公民館基本方針の状況について説明し、委員から意見聴取。
- 2 社会教育委員会会議を実施予定（令和5年3月23日）

※協議予定内容

 - （1）令和5年度生涯学習関連事業及び令和5年度社会教育関係団体への補助金交付について説明。
 - （2）地域と学校の連携・協働を推進するために参考となるリーフレット（案）の説明。
 - （3）公民館基本方針の状況について説明。

2 成果と課題

地域学校協働活動を推進することについて協議・意見聴取を実施した。それらの意見を参考に活動の推進の参考となるリーフレットを作成予定。

学校園や公民館等だけでなく、地域の人たちにもリーフレットを読んでもらい、地域学校協働活動を推進する意識の醸成を図っていく必要がある。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

来年度、リーフレットを作成し、学校園や公民館等へ配付する。

地域学校協働活動を推進するために、地域学校協働本部のない中学校区について本部の設置を目指す。

倉敷市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：15人

任期：2年

会議の年間回数：2回

◇活動のテーマ・重点

倉敷市の社会教育関連事業について、理解を深める。

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

(1) 第1回倉敷市社会教育委員会会議の開催

「倉敷市教育振興基本計画」に基づく、社会教育関連の「主要事業」について、令和3年度の事業報告及び令和4年度の事業計画に対し、意見を述べた。また、令和4年度社会教育団体への補助金交付について審査を行った。

会議開催後、令和4年4月にリニューアルオープンした倉敷市自然の家を視察した。

(2) 第2回倉敷市社会教育委員会会議の開催

「倉敷市教育振興基本計画」に基づく、社会教育関連の「主要事業」について、令和4年度の取組状況に対し、意見を述べた。

会議開催後、保存修理が完了した国指定重要文化財 井上家住宅を視察した。

2 成果と課題

多方面で活躍する委員から、市の社会教育施策に関する質問や意見が集まり、共有できた。

コロナ禍によりオンライン形式の会議が増えたことから、会議の開催方法を検討していく。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

引き続き、会議の開催を通じて、市の社会教育施策に対しての意見交換や提言を行う。

また、今後も、事業や施設の現場視察を取り入れながら意見交換の場としていきたい。

津山市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：10人

任期：2年

会議の年間回数：3回

◇活動のテーマ・重点

「学校と地域との連携・協働」「対話から始めるまちづくり」

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

津山市では、教育委員会との連携を図るため、定期的に教育委員と社会教育委員の懇談会を実施している。今年度は学校と地域の連携について、津山市のコミュニティ・スクールをテーマに意見交換を行った。

社会教育委員は懇談会前に研修会として、実際にコミュニティ・スクールに携わっている委員から事例について学び、知識を深め、懇談会に臨んだ。

コミュニティ・スクールへ関わる時の自分の心構えや、「地域や学校がこう変わってくれたらいいな」という想いなど、活発に意見交換が行われていた。



◀研修会



懇談会▶

2 成果と課題

教育委員との懇談会では、教育委員会と社会教育委員双方の立場からコミュニティ・スクールについての意見や展望等を共有し、各委員がコミュニティ・スクールについての知識を深めることができた。

コロナ禍もあり、社会教育委員同士での交流を深める場が少なかった。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

- ・社会教育委員相互の交流が積極的にできるよう、懇談会等の機会をつくるとともに、引き続き教育委員との懇談会を開催し、連携を強化する。
- ・社会教育施設や事例を視察・研修し、知識を深める。

玉野市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：9人

任期：2年

会議の年間回数：2回

◇活動のテーマ・重点

社会教育委員が出向く、話し合う。

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

①会議の開催、社会教育委員同士の交流

ア 玉野市社会教育委員会議【令和4年7月22日（金）開催】

イ 玉野市トップアーティスト・アスリート招へい補助事業審査会【令和4年7月22日（金）】

ウ 社会教育委員懇談会の開催【計2回】

エ たまのっ子育て支援委員会（おかやま子ども応援事業）の開催【令和5年2月24日（金）】

②地域学校協働活動等の見学

ア 放課後子ども教室（子ども楽級）見学【令和4年7月・令和5年12月】

イ 放課後子ども教室（おさらい会）見学【令和4年12月～令和5年1月】

〔個人としての活動〕

① 芸術文化体験会等への参加【随時】

② PTA活動への参画【随時】

③ スポーツ振興に関わる活動【随時】

④ 文化振興に関わる活動【随時】

2 成果と課題

今年度も昨年度と同様に、社会教育委員が出向く機会、話し合う機会の確保に努めた。特に、たまのっ子育て支援委員会（おかやま子ども応援事業関連会議）に社会教育委員がオブザーバーとして参加し、玉野市教育委員会が目指す子ども像の実現に向けて、どのような取組が行えるか熟議を行った。これまでも社会教育委員の主催事業の開催について検討してきたが、実現には至らなかった。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

今後も随時、社会教育委員同士が交流する機会が持てるように努める。また、会議や交流した内容が、全体・個人双方で、実際の活動につながるような伴走支援を教育委員会が積極的に行っていく必要がある。

笠岡市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：10人

任期：2年

会議の年間回数：2回

◇活動のテーマ・重点

社会教育・生涯学習事業等の企画・立案・助言
地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

【会議】7月 第1回笠岡市社会教育委員会

3月（予定）第2回笠岡市社会教育委員会

【研修会】5月 備中地区社会教育委員連絡協議会研修会

6月 岡山県社会教育委員連絡協議会第1回研修会

3月（予定）笠岡市社会教育委員会研修会（兼）笠岡市地域学校協働活動報告会

本市の社会教育・生涯学習事業の年間計画、実績報告等を社会教育委員会に諮ることで、各事業の改善・見直しや各種団体の連携強化等に取り組んでいる。各委員は、各事業の実行委員として参画している案件が多いことから、事業の企画運営にも携わっている。また、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進を1つのテーマに掲げ、社会教育委員が双方の活動に1人の地域人材として参画する方法を模索する。そのために必要な知識の向上や地域・学校関係者（地域学校協働活動運営委員会）とのつながりを目的に研修会を開催する。

2 成果と課題

前年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、書面会議としていたが、今年度は参集形式で開催できた。委員改選により新任委員が多くいる中、本市の社会教育・生涯学習事業への理解が深まった。また、テーマに掲げている地域学校協働活動においても、活動報告会のグループワークに参加することで、本市の現状が把握でき、地域・学校関係者（地域学校協働活動運営委員会）とのつながりをつくることができた。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

地域学校協働活動の推進に寄与する活動を引き続き検討していきたい。

- ・双方の活動の関係者と社会教育委員が熟議する場を設け、地域や学校関係者とのつながりをつくり、委員が一人の地域人材として取り組める活動・取組を模索するきっかけとする。
- ・委員が所属する各種団体が地域学校協働活動に取り組む仕組みを検討する。

井原市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：14人

任期：2年

会議の年間回数：3回

◇活動のテーマ・重点

第3次生涯学習基本計画・基本構想（改訂版）策定
公民館活動の今後について

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

- ・本年度「第3次生涯学習基本計画・基本計画（改訂版）」を策定するに当たり、市民アンケートを基に考察し、内容の検討を行い策定した。
- ・公民館活動の現状と今後について、全国的な流れと本市における状況を比較し、今後の方向性に対して意見を求めた。

〔個人としての活動〕

- ・公民館協議会会長を兼務し、広い視野での意見を反映させている。
- ・少年団活動、ジュニア音楽指導などの生涯学習活動に尽力している。
- ・まちづくり協議会への参画により地域と学校の連携に尽力している。

2 成果と課題

成果

- ・これからの生涯学習の方向性、目指すことを形として見えるものにしたこと。

課題

- ・まちづくり等の地域活動の広がりを公民館や学校と連携させていく。
- ・家庭の孤立化を防ぎ、保護者のつながりを求める。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

- ・学校と地域の連携についての考察を深め、具体的な活動につなぐ。
- ・子育てネットワーク等のイベントに参加、視察して、取組状況を把握し、今後の方向性を探る。

総社市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：9人

任期：2年

会議の年間回数：2回

◇活動のテーマ・重点

子どもから大人まで一生を通して学ぶことができる環境づくりの推進

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

- おかやま子ども応援事業、人権教育推進事業及び二十歳の集い等の事業を行い、社会教育の推進を図った。
- 社会教育委員会における意見交換では、部活動の地域移行を議題に取り上げ、各委員から今後の活動に向けての率直な意見をいただいた。

〔個人としての活動〕

- スポーツ・サイエンスフェスティバルや二十歳の集い等のイベントについて、計画段階から参画することにより、一層充実した内容にすることができた。
- 教育振興基本計画の策定において、住民の声としてご意見をいただき、行政に反映することができた。

2 成果と課題

- 各種イベントを通して、スポーツや文化芸術に親しんで豊かな感性を育てることができる機会の拡充を図ることができた。
- 社会教育団体の人数の減少や団体の縮小等が顕著であるため、今後の在り方を検討していく必要がある。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

- 社会教育委員及び関係者の研修会やイベント等の交流機会を提供し、地域の実情や課題などを共有できるような情報交換をしていきたい。
- 幅広い社会教育関係者からの意見を集約し、今後の社会教育活動についての協議を進めていきたい。

高梁市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：9人

任期：2年

会議の年間回数：2回

◇活動のテーマ・重点

令和5～6年度高梁市社会教育委員会議の協議テーマを決める。

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

(1) 第1回高梁市社会教育委員会議の開催 令和4年10月19日(水)

令和3年度社会教育事業報告及び令和4年度社会教育主要事業について意見を述べた。また、令和3年度社会教育委員会議から教育委員会に提言した意見要旨「中高生の貸出冊数増加に向けて(高梁市図書館・高梁市公民館図書室)」を踏まえた高梁市図書館の取組状況について、図書館長である委員から実践発表いただいた。加えて、大学教授である委員から「地方創生につながる社会教育・公民館の役割について」と題し、ご講話いただいた。

(2) 第2回高梁市社会教育委員会議の開催 令和5年2月20日(月)

令和5年度社会教育主要事業について意見を述べた。また、令和5～6年度の高梁市社会教育委員会議の協議テーマを決めるため、ワークショップ形式で話し合った。

(3) その他

岡山県社会教育委員連絡協議会や備中地区社会教育委員連絡協議会等が行う会議や研修会等に参加した。

2 成果と課題

委員による実践発表やワークショップを取り入れるなど会議の進め方を工夫し、委員の皆さんの発言機会を増やすことができた。また、大学教授である委員から講話いただくことで、社会教育に関する見識を深めることができた。さらに、令和3年度の反省を生かし、協議テーマ(課題)の設定から、社会教育委員会議で取り組むことができた。

しかしながら、委員からは「年2回の会議では少ない」といった意見もあり、限られた予算・時間の中で、効果的な意見交換ができるよう、より良い会議形式を検討したい。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

引き続き、社会教育事業に関する意見交換を行うとともに、このたび設定したテーマに対する具体的な協議を行う。

新見市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：5人

任期：2年

会議の年間回数：4回

◇活動のテーマ・重点

- ・社会教育施設の現状把握（社会教育委員研修）
- ・令和4年度社会教育事業への参加（新見市子ども応援事業）

I 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

1 社会教育委員研修

【市内教育施設視察研修について】

毎年度、市内の社会教育施設の視察を兼ねて研修を行っている。

本年度は、第3回社会教育委員会の中で、公立大学法人新見公立大学本キャンパス及びN i U新見駅西サテライトキャンパスへ出向き、担当者の方から大学の概要や施設の役割等を伺い、あわせてキャンパス内の見学も行った。

新見公立大学は、令和元年度から全学科が4年制となり、新しく4年制となった学科の4回生が、本年度卒業となる。

最初に、本キャンパスの施設紹介や職員体制など、本大学の施設概要の説明をお聞きし、規模が大きくなったことにより、大学運営はもとより教育カリキュラムの見直しや教職員の管理及び施設の管理業務が倍増したことなど、改めて大学運営の大変さを実感した。また、本大学の健康保育学科では、中山間地域における保育（就学前教育）を学ぶ場として教育支援センターを設置し、地域社会と連携、協力し教育研究を行い、教員及び保育士を養成するという運営を行っており、地域社会と協働する履修課程が構築されていることを知り、本大学の地域への貢献に対する理解を一層深めることができた。

続いて、本大学の基本理念である「人と人とが繋がり合う地域に根ざした大学として、地域を拓く優れた人材を育成する」の実現のための拠点として本年度から共用されている「N i U新見駅前西サテライトキャンパス」も視察した。こちらでは、本大学理念の元、学生が中心となって地域住民と交流を行うため「発達支援センター」、「子ども交流広場」、「スタディラウンジ」の3部屋を設置し、地域に開かれた協働施設として多世代交流や多目的集会室の運営を行っているとの説明を受けた。地域と積極的に関わろうとする大学の姿勢をよく理解することができた。

今回の視察で、新見市の貴重な教育資源である新見公立大学の地域貢献度や生涯教育の場としての本大学の存在が地域にとって非常に大きいものとなっていることに気づかされたとともに、大学が積極的に地域と関わり、共に発展しようとする活動や、学生の育成方針並びに大学運営方針に、委員全員が感銘を受けた。

2 社会教育事業への参加

【新見市子ども応援事業運営委員会への参加について】

新見市では、市内全小中学校において、国県補助事業の「おかやま子ども応援事業」を活用し、地域住民による学習支援や地域団体との交流活動に取り組んでおり、令和5年3月22日に開催予定の「新見市子ども応援事業運営委員会」へ社会教育委員会として参加し、市内各小中学校が実施している地域学校協働活動の取組状況や事業評価について、意見交換を行う予定としている。

2 成果と課題

- ・成果としては、新見市の財産である公立大学法人新見公立大学の、地域への貢献度や人口減少が加速する中山間地域に立地する高等教育機関として、地域と積極的に関わり、協働し発展していこうとする姿を一層深く理解できたことは意義深いと考える。
さらに、社会教育に携わる者として、施設の状況や社会教育を含めた生涯教育の活動内容を知ることが、委員の資質向上に寄与している。
- ・課題としては、実施団体や施設管理者の意見集約の方法と見聞きした知見を生かした施策や、事業に反映できる体制づくりが必要と考える。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

来年度の初めに検討する予定としている。

備前市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：9人

任期：2年

会議の年間回数：2回

◇活動のテーマ・重点

中高生の地域における活躍の場の提供

中高生の思いをすくいあげるしくみづくり

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

- 様々な市主催事業に参画し、活動内容等を検証する。
 - ・ 青少年健全育成大会（11月）
 - ・ 子育て懇談会（8月）
 - ・ 人権セミナー（6月～12月・7回）
 - ・ 成人式（1月）
 - ・ 備前まなび塾＋土曜日・長期休業講座（6月～2月）
 - ・ 地域学校協働活動（4月～3月）
 - ・ 家庭教育情報誌「ときナビ」の編集会議（年4回（春・夏・秋・冬））
 - ・ 備前市中学生だっぴ（8月）
 - ・ 県外視察（11月（愛媛県新居浜市））

2 成果と課題

社会教育委員が実際に学びの現場等に出向いていくことで、事業内容だけでなく参加者の表情等も感じることができた。また、実際に参加することにより社会教育委員同士のつながりや各事業の関係者と社会教育委員の関係づくりの端緒とすることができた。

特に人権セミナーでは、セミナー終了後において担当者と事業内容について情報共有するなど、次年度におけるテーマや事業計画作成に向けての協議を行った。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を注視しながら、地域や学校の学びの現場へ積極的に出向いていき、今後における社会教育活動振興のために協議を進めていく。

瀬戸内市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：9人

任期：2年

会議の年間回数：1回

◇活動のテーマ・重点

社会教育委員の役割

社会教育委員会の在り方（社会教育施設・事業の知識を深める）

I 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

○瀬戸内市社会教育委員会議（令和4年10月27日・備前長船刀剣博物館）

① 社会教育関係団体への補助金交付

社会教育関係団体について、活動内容・補助金額等を説明し、今後も継続して交付との意見をいただいた。

② 社会教育関係事業

教育大綱・事業（社会教育関係）を説明し、意見をいただいた。

③ 社会教育委員の役割

社会教育委員の手引きを基に、役割・心得等説明を行った。

④ 社会教育施設の視察研修

各種団体等から委員を委嘱していて、自身と関係のある社会教育については熟知しているが、他の社会教育については、知らないことが多く、意見を求められても分かることが少ないとの意見があった。このことから、社会教育の知識を深めるとともに、関心を持ってもらうことを目的とし、今年度は備前長船刀剣博物館の視察研修会を実施した。



2 成果と課題

資料を事前送付し確認して、当日会議に参加することにより、説明を簡素化でき、スムーズに会の進行が行えた。また、委員の意見交換等による時間が増え、委員相互の交流をすることができた。委員会を年1回しか行えていないが、今後は回数を増やせるよう努めたい。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

社会教育について研修等を実施し、社会教育委員及び関係者との交流の場を増加させ、社会教育への関心を深めるとともに、社会教育委員として、どんな取組ができるのか検討し、実施できるよう進めたい。

赤磐市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：9人

任期：2年

会議の年間回数：3回

◇活動のテーマ・重点

今後の社会教育員の活動について

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

(1) 第2回社会教育委員の会議（11月）

内容：昨年度行った、社会教育委員の役割・心得についての研修内容を踏まえ、これからの活動について話し合った。

(2) 各種研修会への参加

・備前・備中地区社会教育委員連絡協議会 合同研修会（5月）

内容：（事例発表）岡山市・高梁市社会教育委員会議
（ワークショップ）市町社会教育委員の会の活性化に向けて

・岡山県社会教育委員連絡協議会 第1回研修会（6月）

内容：（講演）誰もが集い学ぶ学校と地域づくりを

・中国四国地区社会教育研究大会（広島大会）（10月）

内容：記念講演、シンポジウム、分科会参加

・備前地区社会教育委員連絡協議会 研修会（11月）

内容：愛媛県新居浜市泉川小学校・泉川公民館において、活動発表・協働学習見学

2 成果と課題

今年度は昨年度行った、社会教育委員の役割・心得についての研修内容を踏まえ、これからのような活動ができるのかについて話し合った。また研修会にも積極的に参加し、地域の現状や活動についても学んだ。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

各委員が担当地域の課題や現状を確認し、どのようなことができるのか検討していく。
引き続き各研修会に参加し、情報を収集していく。

真庭市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：14人

任期：4年

会議の年間回数：3回

◇活動のテーマ・重点

地域学校協働本部の伴走支援、文化施設等の視察

Ⅰ 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

(1) 会議・研修

令和4年度は、視察研修を含め3回の定例会を開催した。令和3年度の事業報告や令和4年度の事業計画に対して助言を行うなどした。コロナ禍において、定例会はあまり開催できなかったが、「人づくりまちづくり研修会」など、県生涯学習課や教育事務所が主催する研修会、全国社会教育研究大会へ積極的に参加し、自己研鑽した。

(2) 県内美術館及び旧吹屋小学校の視察

第2回定例会と兼ねて、近隣の市の美術館（高粱成羽美術館、新見美術館）の視察を行った。美術館がない真庭市で、何ができるのかを考える機会となった。

併せて、旧吹屋小学校の視察も行った。



高粱成羽美術館での視察

(3) 地域学校協働本部の立ち上げ協力

委員が地域学校協働本部の設置に向けて協力した。

〔特色ある活動〕

生涯学習課の事業で、学び直し講座「まにわ^{しょうがっこう}笑楽考」を実施。市内の30代～70代、10名が参加した。退職教職員の社会教育委員3名が「考師^{こうし}」となって、小学校の算数の授業を行い、全9回の講座を開催した。※令和5年度も実施予定。



算数を教える委員

2 成果と課題

- ・学校運営協議会及び地域学校協働本部の設置に協力できた。
- ・社会教育委員が自らの経験を活かし、学び直しの講座に協力することができた。
- ・令和4年度で任期が満了となるため、若年層や女性の委員の参加を促していきたい。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

次年度の取組については、次年度協議し決定することとしている。

美作市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：14人

任期：2年

会議の年間回数：2回

◇活動のテーマ・重点

地域の特色を生かした学びの支援

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

美作市では毎年、「バレンタイン子ども絵画展」として、市内小中学生から応募のあった絵画の入賞作品の巡回展示を行っている。応募作品142点の審査を社会教育委員で行い、子どもたちの伸びやかな表現を応援した。入賞作品は表彰して称えとともに、市内の美術館や公民館での巡回展示を行った。



▲作品展の様子

2 成果と課題

感染症の引き続きの流行により、様々な行事の縮小や中止が余儀なくされた。早い収束を願うとともに、多様な学びの活動が行えるようにしていきたい。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

引き続き「バレンタイン子ども絵画展」を実施して、子どもたちの表現の機会を応援していきたい。

浅口市社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：14人

任期：2年

会議の年間回数：2回

◇活動のテーマ・重点

地域学校協働活動における社会教育委員としての役割

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

(1) 第1回社会教育委員会議

令和4年8月17日に、浅口市中央公民館で開催した。社会教育に関わる年間の事業計画について意見交換を行い、会議の終了後に浅口市中央公民館、鴨方図書館等の視察を行った。

(2) 「夏GAKUサプリ」の視察

「夏GAKUサプリ」は夏休み期間中の7月26日～7月29日の4日間、3公民館で実施している、学校と公民館、地域が協働で小学生の学習支援を行う事業である。参加した児童や指導補助ボランティアの中・高校生の活躍を視察し、今後の学校や公民館、地域への関わり方について考えるきっかけとなった。

(3) 「浅口市中高生だっぴ」の視察

令和4年11月12日に、地域の中高生と大人の語り場として初実施した「浅口市中高生だっぴ」を視察した。本事業の成果や課題について考えるきっかけとなった。

(4) 第2回社会教育委員会議（予定）

令和5年3月24日に、本年度の事業実績や次年度の予定等を協議する会議を、寄島公民館で予定している。会議の終了後は、寄島公民館、寄島図書館等の視察を行う予定である。

2 成果と課題

【成果】「夏GAKUサプリ」や「浅口市中高生だっぴ」を視察することにより、参加した児童・生徒や大人の活躍を肌で感じる事ができた。地域との関わり、異年齢との交流から、学校と公民館、地域への関わり方を考えるきっかけとなった。

【課題】各種事業に対する社会教育委員としての関わり方を模索していく必要がある。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

公民館活動や学校支援事業、地域活動へ積極的に参加し、引き続き社会教育委員としての関わり方を模索していく。

和気町社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：14人

任期：2年

会議の年間回数：1回

◇活動のテーマ・重点

社会教育施設の利用促進と世代間交流の機会創出

I 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

新型コロナウイルスによる社会教育施設の利用低迷と、世代間交流の希薄化解消を図るため、社会教育施設に人を呼び込む活動、これまでつながりの少なかった世代の住民が共に何かに取り組み、交流が生まれる活動を実施した。

(1) みんなで芝生を植えよう会

日本サッカー協会から無償提供を受けた芝生の苗 60,000 株を、住民との協働により約 15,000 ㎡吉井川河川公園グラウンドに植えていく移植会を実施した。地元住民をはじめ、町内外のスポーツ少年団やクラブチーム、環太平洋大学の野球部、サッカー部など約 400 名が参加し、新たな町の名所ができるとともに、新たな世代間交流が図られた。



(2) 暑さ解消！ふ～リンリン祭り

町内にここにこ園の園児が、ペットボトル、プリンカップの廃材等を利用して作った風鈴約 350 個を町内社会教育施設、公民館等で巡回展示した。普段公民館等を利用しない町民も、ここにこ園園児の作った風鈴を見に来館し、社会教育施設・公民館等の利用促進につながった。



2 成果と課題

(成果)

(1) では、猛暑の中の芝生移植会となったが、慣れない作業を、子どもからお年寄りまで幅広い世代の住民が協力して行うことで、新たな交流とグラウンドの芝生化に自分も加わったという達成感が生まれ、郷土愛醸成につながった。

(2) では、廃材等を利用した風鈴制作で、環境問題に訴えると同時に、にこにこ園園児の作品を町民に見てもらおう機会の創出、社会教育施設・公民館等を普段利用しない住民の誘客につながった。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

来年度も引き続き、社会教育施設の利用促進、世代間交流の創出等に力を入れたい。

早島町社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：10人

任期：2年

会議の年間回数：2回

◇活動のテーマ・重点

生涯学習のまちづくりの推進について

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

- ・第1回社会教育委員会会議（中止）
- ・第44回全国公民館研究集会岡山大会へ参加（オンライン参加）
- ・第2回社会教育委員会会議（予定）

〔個人としての活動〕

- ・事業や学習の継続についての研鑽

2 成果と課題

コロナ禍により多くの学びの場で、対応が必要となった。地域から社会教育委員会にも、対応や方針、新しい学びの形についての検討を求める声があったが、会議自体の開催が不可能な状況となり、結果的に国の方針を伝達するだけになってしまった。

研修についても公民館研究集会岡山大会にオンライン参加とした。個々の研修は深まったと考えるが、対面で意見を交わして得られる充実感や内容の深まりは感じられなかった。今後の研修の在り方や新しい研修方法の参考になった。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

社会教育もウィズコロナの時代に向けての変革が求められると考えられる。喫緊の課題である地域づくりの後継者問題やクラブ・グループの高齢化など、社会教育を取り巻く環境の変化にも対応した取り組みや事業を検討していきたい。

里庄町社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：10人 任期：2年（令和4年4月1日～令和6年3月31日）
会議の年間回数：3回 ※臨時会を除く

◇活動のテーマ・重点

- ・コロナ禍だからこそ、町民の方々に響く社会教育委員の役割とは
- ・「子どもの元気な声が響き、みんなの笑顔があふれるまち」への参画

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

（1）里庄町社会教育委員会の開催

- 第1回 6月17日（金） 委員長選出・令和4年度里庄町社会教育事業について 他
- 第2回 11月16日（水） 町内社会教育施設視察・研修
- 第3回 3月20日（月） 令和5年度社会教育事業について 他

（2）第44回全国公民館研究集会岡山県大会への参加（オンライン）

公民館運営審議会委員として参加

（3）岡山県社会教育委員連絡協議会総会・研修会への参加（オンライン）

令和4年度岡山県社会教育委員連絡協議会第2回研修会

8月28日（日） ひとつづくり・まちづくりフォーラム2022

（4）備前地区・備中地区社会教育委員連絡協議会合同研修会への参加（オンライン）

5月24日（火） 里庄町福祉会館に参集し視聴

〔個人としての活動〕

社会教育委員がそれぞれの立場で工夫をしながら、町民の方と直に接する場面を増やしなが
ら、委員の活動を全うしている。

各種団体からのご意見を参考にしながら、より良いまちづくりのために、一つでも多くのこと
を取り入れる工夫をしている。

2 成果と課題

社会教育委員会議において、社会教育施設の見学を取り入れ、普段目にしない会場や職員の話
などを聞き、地元にある施設を改めて見直すことができた。その知識を基にして、他の団体に対
して、利用促進を呼びかけたり研修等に使用していただいたりと、委員自らが里庄町のために動
かれた実績ができた。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

コロナの収束状況を確認しながら、徐々に戻りかけている社会教育活動の一助として委員が自
覚を持って、できることを丁寧に行っていく。

矢掛町社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：7人

任期：2年

会議の年間回数：6回

◇活動のテーマ・重点

社会教育の活動現場・研修等への積極的な参加

令和4年度教育行政重点施策（生涯学習・文化財・健康スポーツ）の事業評価

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

①施設訪問（平成29年度から継続） ・桃源郷はなしの里 ・美川公民館

②矢掛町の社会教育活動・研修への参加

（各個人の参加の場合あり）

- ・地域とともにある学校づくりの推進研修
- ・中学生模擬議会の傍聴 ・20歳のつどい
- ・やかげ音楽祭 ・教育講演会 ・毎戸遺跡発掘説明会
- ・全国社会教育研究大会広島大会
- ・夏休み学習会 ・本陣文学賞 ・本陣マラソン 等



③令和4年度教育行政重点施策（生涯学習・文化財・健康スポーツ）の事業評価

〔個人としての活動〕

社会教育委員は、個人的に様々な立場で活躍されている人（放課後児童クラブ支援員・地域ボランティア・人権擁護委員・日本語教室・民生児童委員・公民館長・保護者・講座関係者）を選任しており、地域の状況に精通している。

2 成果と課題

現場への参加訪問や、社会教育委員と教育委員の懇談等で具体的な課題や提言を示すことができた。（公民館職員の報償額改定・成り手問題について／部活の地域移行について／文化財の保護・活用について／スクラップ&ビルド等）

3 来年度の方向性・具体的な取組案

①課題（困っていること等）を明確にして意見交換を行う。

②令和4年度と同様、各種社会教育活動に参加して、意見を出す。

新庄村社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数： 5人 任期： 2年
会議の年間回数： 2回

◇活動のテーマ・重点

コロナ禍でできること、公民館のあり方検討

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

- 9月に社会教育委員会を開催した。今年度もコロナの影響で主要な社会教育関係の行事等が中止・縮小されているが、秋以降に開催予定の行事等についてはできるだけ実施する方向とし、個別の行事について協議を行った。

2 成果と課題

- 昨年度同様にコロナの影響により、年間に予定していた講座や行事等の多くを実施することができなかった。
- 人口減少や高齢化等により、活動の主となる人材が年々少なくなっている。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

- コロナに対する制限が緩和傾向にあるため、既存事業の復活やニーズに沿った新規事業の立ち上げに向けた検討を行う。

鏡野町社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：15人

任期：2年

会議の年間回数：1回

◇活動のテーマ・重点

- ・令和4年度教育行政重点施策（生涯学習・文化財・スポーツ）の事業評価
- ・二十歳を祝う会対象者へのメッセージ配付

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

- ・令和4年度鏡野町社会教育委員会（兼）公民館運営審議会
 - （1）令和3年度生涯学習課、中央公民館、地区公民館事業報告
 - （2）令和4年度鏡野町社会教育方針、鏡野町教育施策について
 - （3）令和4年度生涯学習課、中央公民館、地区公民館事業計画の内容確認と承認。
- ・二十歳を迎えられる方に手書きのメッセージを作成し、配付。
- ・コロナ禍で元気がない中でも、日々働く人々を応援するため、のぼりを作成し、街頭啓発を実施。

2 成果と課題

- ・二十歳を迎えられる方への手書きメッセージ作成では、二十歳を迎えられた方々の意見も踏まえ、今後継続していくか検討していく。
- ・のぼり旗による街頭啓発は初めて実施したので、意見を聞きながら次回につなげていく。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

- ・来年度の鏡野町社会教育委員会（兼）公民館運営会議での意見交流を行う。
- ・二十歳を迎えられる方への手書きメッセージ及び街頭啓発について内容を検討する。

勝央町社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：15人

任期：2年

会議の年間回数：3回

◇活動のテーマ・重点

住民と行政の協働のまちづくり

I 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

(1) 年3回、勝央町社会教育委員会を開催（6/23、11/29、3/17）。

- ・令和3年度社会教育事業報告、令和4年度事業計画（案）の説明と意見交換
- ・令和4年度社会教育事業の途中経過報告、令和5年度特別（目玉）事業
- ・勝央町社会教育委員会テーマに向けた取組検討など

(2) 第64回全国社会教育研究大会広島大会へ参加
(委員3名、事務局2名)

- ・第2回勝央町社会教育委員会で報告。
⇒大会パネリストの活動発表からヒントを得て、
「マイルーム」を実施。
委員もできることで協力する。



2 成果と課題

(課題)

勝央町社会教育委員会では、令和2年度に勝央町社会教育委員会の取組テーマを決定し、テーマに向けて行動を起こすための話し合いを行ってきたが、具体的な行動につながっていない。要因は、「委員がやりたいこと・気になっていることが様々で、まとまらない」、毎年1回目の委員会で社会教育委員の役割について説明するが、「委員として何をやれば良いのか、具体的にイメージできない」ことだと感じる。

(成果)

上記の課題から、事務局が全国社会教育研究大会広島大会パネリストからヒントを得て「マイルーム」実施案を提示した。数名の委員の賛同を得たこともあり、1月に1回目の実施に至った。以降、月1回のペースで実施する。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

「手段」「目的」「アクション」を明確にするため、気になることへの調査を実施し、調査結果から課題を見つけ、目的を定め、アクションにつなげる。

(例：家庭教育であれば、保護者世代へアンケート、子育て広場参加者と委員の懇談等)

奈義町社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：9人

任期：2年

会議の年間回数：3回

◇活動のテーマ・重点

3人ずつの小分会で、委員個々のスキルを活かした小回りの利く委員会運営

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

令和3年からの委員の人数を12人から9人に改め、生涯学習、スポーツ振興、美術館図書館運営の3分会を設定し、全大会と分会で協議を続けてきた。委員にも、町内に在住する画家、劇作家、模型作家、民俗芸能の保存団体、スポーツ指導員など、30代から60代の委員で構成した。

〔個人としての活動〕

画家の花房紗耶香委員は、幼稚園で美術指導を行い、園児の作品は、卒園式の舞台装飾として使われた。また、模型作家の野々上秀樹委員は自身も参加する模型サークルの展示会を開催し、県内外から多くのファンが訪れた。

2 成果と課題

この任期中は、新型コロナウイルス感染拡大とその自粛期間であり、イベントや講座など思う活動ができなかった。また、今後もアフターコロナ、児童生徒数の減少などを見極め、より現状に見合った企画運営を検討しなければならない。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

社会状況などをよく調べ、必要な生涯学習の場面づくりを検討する。高齢者向けのスマホ教室、子ども向けの郷土史講座、総合公園の健康器具を使った体力づくり講座、また、美術館企画展に招待した作家による小中学校での美術教室などを検討する。

西粟倉村社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：5人

任期：2年

会議の年間回数：1回

◇活動のテーマ・重点

子どもたちに様々な経験ができる機会を

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動・個人としての活動〕

(1) あわくら会館ワークショップでの内容の実現

ア 取組の趣旨

令和3年度に実施したワークショップでは、村民が「生きるを楽しむ」ため、生涯学習施設のあわくら会館で「やってみたいこと」について、キーパーソンと共有することができた。

その後、社会教育委員とスタッフが連携し、体制と仕組みをつくるための現状の課題などを洗い出すため、自らがプレーヤーとなり、様々な「やってみたいこと」を実践した。

イ 取組の内容

- (ア) 活動内容 「やってみたいこと」を自ら企画化し、スタッフのサポートにより実践
- (イ) 活動場所 あわくら会館
- (ウ) 参加者 村民

2 成果と課題

村民が自らの「やってみたいこと」を通じて、村民同士がつながること、主体的な活動がより「生きるを楽しむ」ことに効果的であるということが分かった。

また、体験の多様性も生まれ、小さい村であるが活動の種類が広がった。

今後、村民の「やってみたいこと」の実現に向けた体制と仕組みの構築を進めていきたい。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

来年度最終年度となる村教育振興基本計画の改定が行われる。実践的な取組を実践するプレーヤーとして、生涯学習・社会教育という分野に限定せず、学校教育を含む全分野と連携できような情報交換や熟議を行っていく。

久米南町社会教育委員の会議

御滝での説明

【基本情報】

委員数：8人

任期：2年

会議の年間回数：2回



◇活動のテーマ・重点

久米南町の魅力を発見しよう！（弓削地区）

中学生作成資料（抜粋）

1 具体的な活動内容

【全体としての活動】

「第6回ウォーキング大会」

2022.11.26（土）開催 一町スポーツ協会主催

弓削 ⇒ 神目 ⇒ 誕生寺 ⇒ 竜山 の4地区を年度ごとに巡っている。

学んだこと御滝

御滝には仏像があり
その仏像の台座の岩
が自然に山から降っ
てきたという言い伝えが
あった。



まちの魅力を歩いて感じるイベント、ウォーキング大会

今年度は弓削地区で開催。

目的は、楽しく歩きながら、名所や歴史に触れることができるようにスポーツと文化の融合を図ることである。

約10kmのコースで目指す七面山御滝は、久米南中学校1年生が、地域学習（久米南学）で探究した場所だったため、中学校の生徒たちの了解を得て、資料を参加者に配付した。また、御滝の管理者である方から山陽新聞に掲載された時の記事や、周囲にある川柳の句碑などが掲載されている資料も提供いただいた。当日も、管理者が御滝や周辺の詳しい説明をしてくださり、参加者は紅葉を楽しみながら、神秘的な話に耳を傾け、新たな地元の魅力を発見することができた。

来年度は、社会教育委員の活動として始まったウォーキング大会が、ついに全ての地区を回り終える。

2 成果と課題

【成果】

今回から小中学生にもチラシを配付したため、親子連れの参加を多く得られた。地元の方も由来を知らない名所があり、大変感慨深い様子だった。社会教育委員が関わり、意見を出すことにより年々充実した大会となっている。

【課題】

来年度で全ての地域を回り終える。新たな取組を行うか、継続した取組とするか協議が必要。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

小中学生にも参加を呼びかけ、マップ等の資料を作成する。資料だけではなく説明者がいると大変分かりやすかった。今後もまちの魅力を多くの方に再発見してもらえよう学びを支援していく。

美咲町社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：9人

任期：2年

会議の年間回数：2回

◇活動のテーマ・重点

「美咲町生涯学習推進計画」の実施報告を受けての進捗状況確認及び評価

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

(1) 生涯学習推進計画の評価

令和3年度に策定した、「美咲町生涯学習推進計画」の進捗管理は毎年行い、各部署が実施する事務事業評価や施設利用・事業実施の状況について、内部評価の結果を社会教育委員の会議で報告を受ける。進捗状況についての意見交換を行い、外部評価の機会とする。

(2) 「大阪府岬町」友好交流都市協定の社会教育委員との交流

大阪府岬町の社会教育委員と交流を行い、地域の文化や社会教育の特色について学ぶ。(令和4年度は委員1名を大阪府岬町へ派遣したが、新型コロナウイルス感染対策により直前で交流会が中止。)

〔個人としての活動〕

(3) みさきあいさつ(声かけ)運動の推進

コロナ禍で、ともすると人間関係が希薄になる中で、新しいコミュニケーションの形を考え、家庭から学校、町内全域にあいさつ運動の輪を広げていく。委員が町内の小中学校へ朝の登校時間に合わせて出向き、あいさつ運動に参加する。(令和4年度においても新型コロナウイルス感染対策により未実施。)

2 成果と課題

生涯学習推進計画の各担当部署の内部評価を基に、社会教育委員の会議で評価チェックシートを用いて評価を行った。評価項目を精査し、次年度以降に実施の事業へ反映できるように準備を行う。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

「大阪府岬町」友好交流都市協定の社会教育委員との交流

大阪府岬町の社会教育委員と交流を深め、それぞれの文化・歴史や特色について学び、今後の社会教育の取組に生かしていく。

吉備中央町社会教育委員の会議

〔基本情報〕

委員数：9人

任期：2年

会議の年間回数：2回

◇活動のテーマ・重点

社会教育の推進

1 具体的な活動内容

〔全体としての活動〕

5月25日に開催した第1回吉備中央町社会教育委員会において、教育委員会より諮問のあった成年年齢引き下げ後の成人式の実施内容について、協議を行った。

(1) 協議事項

- ア 成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたが、式典対象者年齢をどうするか。
- イ 式典の名称をどうするか。

(2) 協議結果

※令和3年成人式出席者に行ったアンケートを基に協議を行った。

- ア 18歳を対象とした場合、受験や就職活動があるので参加が難しい方もいる。また、飲酒・喫煙は20歳からなので、式典の対象者年齢も20歳とした方が良い。
- イ アンケート結果及び他の自治体を参考に「二十歳のつどい」とする。

以上の協議結果を町教育委員会へ答申した。

2 成果と課題

社会教育委員について資料を用いて役割や立場を説明し理解を得たが、現在は活発な活動ができていない。どのような活動ができるか検討していきたい。

3 来年度の方向性・具体的な取組案

町教育委員会と連携して、地域の教育資源を活用し町の教育行政の活性化を図っていきたい。